

# 大学院教育学研究科・教育学部所属学生対象

## 2016年度(平成28年度) グローバル・リーダー育成、スウェーデン研修プログラム

### 募集要項

#### 1. 趣旨

教育学研究科とスウェーデンのストックホルム大学教育学部(平成26年度に学術交流協定を締結)と共同で、大学院学生及び学部学生を対象とする研修プログラムを実施します。本年度のプログラムでは多様性をはぐくむ教育について学生たちの理解を深めることを目的とし、現地(スウェーデン)の学校訪問、ストックホルム大学教育学部の学生たちとの意見交換会、国際シンポジウム参加を予定しています。

#### 2. 期間・日程(※予定)

2017年(平成29年)2月22日(水) ~ 2017年(平成29年)2月24日(金)(3日間)  
※募集開始時より日程が変更となっています。

2月21日(火)	到着
2月22日(水)	ストックホルム大学にて大学紹介、 キャンパスツアー・市内観光等による現地学生との交流
2月23日(木)	国際シンポジウム「多様性をはぐくむ教育」(ストックホルム大学)への参加(発表)、 ストックホルム大学教育学部の学生との意見交換会
2月24日(金)	ストックホルムにて学校訪問等 (ストックホルム大学、スウェーデン王立工科大学、カロリンスカ研究所にて研究室訪問等 を行う可能性があります)
2月25日(土)	解散

#### 3. 研修場所

ストックホルム(スウェーデン)

#### 4. 引率教員

北村友人 准教授

#### 5. 募集人数

大学院学生・学部学生計12名程度 ※選考(書類および面接)有り

#### 6. 申請資格・条件

- ① 申請時・研修期間を通じて東京大学大学院教育学研究科・教育学部正規課程(博士・修士・学士課程)に在籍する者(研修期間中に休学している者を除く)
- ② 英語でのコミュニケーション、現地学生との意見交換、国際シンポジウム参加に十分な意欲のある者
- ③ 参加に要する経費(大学からの補助分を除く)を自己負担できる者

#### 7. 費用

旅費の一部をプログラムで補助します(20日(月)から4泊分現地宿泊代を大学が負担予定、全員が同じ宿泊先を利用します)。

その他の費用(航空券、交通費、食費等)は自己負担となります。航空券は各自で手配・購入するものとします。現地集合としますが、移動中は数名で行動することを推奨します。

8. 申請書類

- ① 申請書 ② 成績評価係数表 ③ 在籍課程（学部学生は後期課程）の成績証明書の写し
- ④ 英語等の語学能力試験結果の写し

申請書類様式は学生支援チームホームページよりダウンロード。

9. 申請締切・申請方法

10月18日（火）17時【厳守】 学生支援チーム窓口へ申請書類①～④を提出

10. 選考方法

一次選考（書類審査）→ 二次選考（面接審査）→ 参加者決定（11月上旬）

その他注意事項

- ① 全日程に参加が可能な場合のみ申請して下さい。申請後の申請取り下げ及び派遣決定後の辞退は、原則認めません。
- ② 派遣決定後に参加準備のための事前研修を行うので、必ず出席して下さい。
- ③ 参加者はシンポジウム発表原稿（500ワード程度）・スライドを作成します。また、帰国後に研修参加報告書（書式は別途指定）を提出します。
- ④ パスポート取得、派遣先国や地域の情報収集を含む渡航準備は、本人の責任により行って下さい。危機管理等について、プログラム参加前に「東京大学海外留学・国際交流情報」ウェブサイト及び『海外危機管理ガイドブック』を熟読して下さい。  
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>
- ⑤ 参加者は研修期間中の保険として「付帯海学」（交易財団法人日本国際教育支援協会の学研災付帯海外留学保険）に加入します。また、研修期間中の危機管理対策として「OSSMA」（日本エマージェンシーアシスタント（株）の派遣学生危機管理サービス）に加入します。加入にあたっての詳細は採用者に追って説明します（いずれも各自加入が必要、加入に要する経費は自己負担）。
- ⑥ 申請資格・条件を満たしていないと判明した場合、その他参加が適当でないと認められた場合は派遣決定後であっても派遣を取り消すことがあります。
- ⑦ 障害等のある者は派遣上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する場合は申請時に国際交流室に申し出て下さい。

問合せ

大学院教育学研究科・教育学部 国際交流室・学生支援チーム（国際交流担当） [exchange@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:exchange@p.u-tokyo.ac.jp)